

## 地域住宅生産者グループ FPの家ふくしま

地域型復興住宅の名称	対象となる地域
「ら・し・く」「包む」	福島県全域

### グループの特徴とメッセージ

福島県の地元工務店が中心となり、その取引先である設計事務所、製材会社、その他関連業者と連携をとり、快適で省エネルギーな生活ができる家づくりをめざします。

未曾有の爪あとを残した「東日本大震災」。今もなお、仮設住宅に住まわれている方が少なくありませんが、家族が永続的に健康で快適な生活が送れる場所ではありません。そこで私たち地元工務店が、その方たちのために何ができるのかを真剣に考えました。その答えのひとつが、震災復興企画住宅の「ら・し・く」と「包む」です。高断熱・高気密の頑強構造で、大地震や火災などからご家族を守るとともに、毎月の光熱費もしっかり抑える、家計にやさしい住まいです。

### グループの基本情報

グループ名称	FPの家ふくしま
所在地	福島県福島市町庭坂字長林 23番地 (株)カンノ住研内
結成年月	1990年4月
グループ形態	任意団体
主たる業態	施工
グループ構成 ※各事業者名 は別紙	合計23社 原木供給 : 3社 製材 : 3社 建材流通 : 2社 プレカット : 3社 設計 : 4社 施工 : 7社 その他 : 1社
代表者名	菅野良二(株式会社カンノ住研代表取締役社長)
主な受賞歴・ 活動内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度住宅・建築物省CO2先導事業(被災地版)採択(15棟予定)</li> <li>高断熱住宅と健康セミナー開催(1回)</li> </ul>

### 地域型復興住宅の主な工法・価格帯

主な構造・工法	木造軸組工法
価格帯	1,000~1,600万円
価格の基準面積	75~100㎡
価格に含まない項目	屋外工事費、外構工事費、設計料、諸手続費

\*価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。  
詳しくはお問い合わせください。

### グループ全体の施工実績(年間)

建設戸数*(木造戸建)	60戸
うち地域材活用の住宅	30戸
うち長期優良住宅	10戸
グループとしての 施工実績	あり 60戸
グループとしての地域 型住宅の受注可能戸数	120戸
自由記入欄 (上記以外の実績等)	500万円以上の大~ 中規模リフォーム工 事を30戸程度受注 (年間)

※参画する施工業者の建設戸数の合計

### 連絡窓口

担当者名	佐藤克也	メール	Kt.satou@fpcorp.co.jp
電話番号	022-711-2511	FAX	022-711-2512
ホームページ			
自由記入欄			

## 地域型復興住宅

# 「ら・し・く」「包む」

### 地域型復興住宅のイメージと特徴

#### ■自分「らしく」暮らすための住空間

- ・シンプルで機能的な間取り、高齢者になっても暮らしやすい平屋の住まいです。
- ・住まう家族の趣味や暮らし方にあわせた多目的空間を用意。変化にも対応可能なプランです。
- ・冬暖かく、夏涼しい、高性能でありながらコストダウンを図りました。

#### ■潤いに満ちた暮らしが、家族をやさしく「包む」家

- ・家族の成長にあわせ間取りも自由に変更が可能です。
- ・暮らしのライフスタイルにあわせて成長する家です。
- ・断熱性や耐久性に優れたシンプルな設計で快適な暮らしを守ります。



### 代表的事例の概要

構造	木造軸組工法	床面積	1階：69.14 m <sup>2</sup> 2階：30.63 m <sup>2</sup>
設計	(株)カンノ住研二級建築士事務所	施工	株式会社カンノ住研
施工費	2,000万円（設計費用は除く）	備考	—

## 設計方法や地域材活用に関する特徴

### ■ 家族の暮らしにあわせ変化が可能な居住空間

- ・ 建物の外皮で断熱・気密を徹底し内部は出来るだけ開放感をもたせた空間とし、間仕切りは可能な限り最小限としておく。
- ・ 初期投資をできるだけ抑えることと間仕切りを後施工することにより変化に対応しやすい住まいとなる。
- ・ 家中温度差の少ない住宅づくりを基本とし高齢者にとって体の負担が少なくかつ省エネルギーな住宅としています。

### 主に活用している地域材について

地域材の名称	福島県産材
樹種	杉、アカマツ
産地	福島県内各地域
認証制度等	福島県認証制度
主に取扱う材種	無垢材、集成材
主に取扱う部材	柱材、梁材、羽柄材、内装材
自由記入欄	地域型復興住宅では福島県産材を80%以上活用した住宅を供給します。

## 性能・仕様および施工方法等に関する特徴

### ■ 快適かつ省エネルギーな住宅。省エネ性能を「トップランナー基準」における達成率140%を目安とする。

- ・ 将来的にエネルギーをできるだけ使用しない住宅とするため、「トップランナー基準」における基準達成率を、太陽光発電なしで140%程度とし、太陽光発電を設置した場合に1次消費エネルギーがほぼゼロとなる性能の住宅とする。
- ・ 基本躯体性能 ①熱損失係数 1.9W/m<sup>2</sup>k以下、②気密性能 0.5C m<sup>2</sup>/m<sup>2</sup>以下とする  
特に気密性については必ず実測をし確認をする。断熱仕様は次のとおりとする。

A 床、壁： 硬質ウレタンフォーム 厚88mm（床）、105mm（壁）

B 天井： セルローズファイバー 厚300mm

C 玄関戸： K2.0仕様      D サッシ： 樹脂サッシ高断熱複層ガラス



筋かいと一体の断熱壁

床と壁の断熱施工は工場生産による木枠つきの硬質ウレタンを使用する。そうすることによって、現場に左右されない均一な断熱性能と気密性能をあげることが可能となります。また、将来の増築や改築にも再利用が可能であり環境に配慮されています。



床の施工

## 地域住宅生産者グループ FPの家ふくしま

### 地域型復興住宅の生産供給や流通資材の調達に関する体制

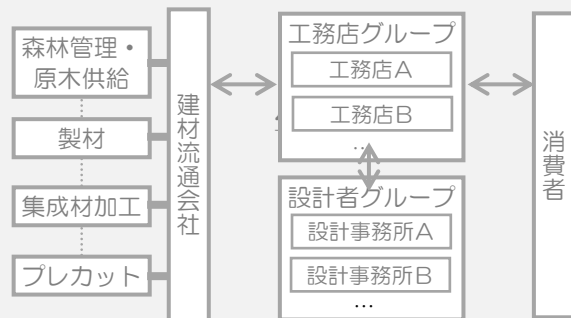
#### ■ 建材流通会社による一括資材調達

- ・ 地場工務店が中心となってグループ化をおこなっているが、地域材の供給については一括して建材流通会社からの供給体制をとっている。
- ・ プレカットや断熱建材の生産性向上や施工の効率化を考えモジュールの統一化を図っている。
- ・ 断熱施工は工場生産によるパネル化で生産性をUP



断熱建材生産

F P の家ふくしまの地域型復興住宅供給体制



プレカット工場

### 施主からの相談体制および維持管理（アフターサービス）の体制・取組み

#### ■ 維持管理とネットワーク

- ・ 定期的に情報誌を発行  
住まい手とのつながりを重視し、グループで情報誌を発行し定期的な情報のつながりをもっています。
- ・ レギュラーサポート（定期点検）  
造り手である工務店が入居後の定期訪問を実施し、不具合の点検や住み心地アンケートの実施などを行ないます。
- ・ 住まい方セミナーの開催  
「住まいの取扱説明書」により日常、住まい手ができるメンテナンスを引渡し時に説明し、さらに入居してからの換気の重要性やおていれの方法、地域にあった住まい方、など長期に渡り快適に暮らす為の「住まい方セミナー」を実施します。
- ・ 住宅の維持管理を継続していく為のグループ活動  
工務店同士の交流をおこない万が一の場合でもアフターの引継ぎがおこなえる体制をとっています。



情報誌の発行



住まい方セミナーの様子